目次

はじめに

本手順は PCA-ACUP を使用して再生機器からパソコンにサウンドを取り込み MP3 ファイル形式で分割保存するまでの 操作手順の例を記載しております。

DigiOnSound5 L.E.のその他機能に関しましては、まず DigiOnSound5 L.E.を起動しメニューバーの[ヘルプ]->[目次]より オンラインマニュアルがございますのでそちらをご覧くださいますようお願いします。 (サポートサービスのご案内に関しましても記載しております。)

	ページ
はじめに	1
I. デバイスの設定	2
Ⅱ.環境設定	3
Ⅲ.録音レベルの調整	4
Ⅲ-1. XP の場合	4
Ⅲ-2. Vista の場合	5
Ⅲ-3. 録音レベルの注意点	6
Ⅳ. 録音を行う	7
Ⅴ. サウンド分割でキューポイントを設定する	8
Ⅵ. 手動でキューポイントを設定する	9
Ⅶ. ノーマライズ(音量調整)を行う	10
WII. MP3 形式で分割保存する	11

I. デバイスの設定 入力サウンドデバイスを PCA-ACUP に設定する。

①ツールバーの[ファイル]->[サウンドデバイスの設定] を選択します。

		DigiOnSound5 L.E.	
C	ファ	イル(F) 表示(V) コントロール(C)	へレプ(H)
		新規作成(N)	Ctrl+N
		開<(O)	Ctrl+0
		閉じる(C)	Ctrl+W
		音楽CDからのデータ抽出(M)	
	ļ	環境設定(T)	
C		サウンドデバイスの設定(U)	
		最近使ったファイル	
		終了(X)	Alt+F4,Ctrl+Q

②「サウンドデバイスの設定」ウィンドウが開きますので 入力サウンドデバイスを【マイク(USB PnP Audio Device)】 に変更して[OK]ボタンをクリックしてください。

サウンドデバイスの設定
出力サウンドデバイス © <u>W</u> aveOut © <u>D</u> irectSound サウンドデバイス(<u>P</u>): ウェーブマッパー ▼
サウンドバッファの長さ(L): 02 秒(01~05) サウンドバッファの個数(C): 5 個(3~20)
入力サウンドデバイス サウンドデバイス(<u>B</u>): ウェーブマッパー ウェーブマッパー マイク (USB PhP Audio Device) デジタル入力デバイス (SPDIF) (H 新音12直の補止1回U): U ms
OK キャンセル ヘルプ(出)

Ⅱ.環境設定

①ツールバーの[ファイル]->[環境設定]を選択します。

②「環境設定」ウィンドウが開きますので[録音]タブの チャンネルを【ステレオ】に設定してください。

 (DigiOnSound5 L.E.	
77	イル(F) 表示(V) コントロール(C)	へルプ(H)
	新規作成(N)	Ctrl+N
	開<(O)	Ctrl+0
	閉じる(C)	Ctrl+W
\downarrow	音楽CDからのデータ抽出(M)	
\square	環境設定(T)	
	サウンドデバイスの設定(U)	
	最近使ったファイル	
	終了(X)	Alt+F4,Ctrl+Q

環境設定	X
録音 サウンド形式 一時ファイル 表示 編集	
チャンネル へ モノラル(M) (で ステレオ(S))	
OK キャンセル ヘル	ブ

③次に、〔サウンド形式〕タブへ移動しチャンネルを 【ステレオ】に設定して〔OK〕ボタンをクリックしてください。

環境設定	
録音 サウンド形式 一日	寺ファイル 表示 編集
サンプリング周波数(S):	44,100Hz
量子化ビット数(B):	16 ビット
チャンネル(<u>©</u>):	モノラル マ モノラル マ ステレオ
	OK キャンセル ヘルプ

Ⅲ. 録音レベルの調整

Ⅲ-1. XP の場合

①「DigiOnSound5 L.E.」のツールバーにある 「コントロール」->「録音コントロール」を 選択してください。

(בטאם-א(<u>C</u>)	ウィンドウ(₩)	\sim	レプ(日)									
Ċ	再生(P) 録音(<u>R</u>)	Spac Ctrl+Spac	e e	► 🚯		989		+8+	83	8))	4;+ + -
	前のマーカー(2)次のマーカー(2	_移動(⊻) _移動(<u>N</u>)	P N										
	再生しながら診 ループ(L)	录音(<u>₩</u>)			_	_	_	00.	00.0	0.010	-	_	_
L	 Read Automa 	ation(<u>E</u>)							00.0	0.010			
	 Write Automa 	ation(])											
	,錄音停止タイ	マーの設定(<u>M</u>).											
Q	録音コントロー	-)l(<u>C</u>)		<u> </u>									

 ②WindowsXPのミキサーデバイス画面(Wave Inのウィンドウ)が 表示されますの上下のスライダーで録音レベルを調整してください。

録音レベルは最大レベルの 10-25%程度にすることをお勧めします。 録音した音が小さい場合は、再生する機器の音量を大きくして録音 した後に「ノーマライズ」を行ってください。

🗈 w 🔳 🗖 🔀
オプション(Ⴒ)
ヘルプ(円)
হন2
バランス:
▶ 4
音量:
<u>ן - -</u>] א−ב≶⊡
USB PnP Audio Device

Vista では「DigiOnSound5 L.E.」のツールバーにある「コントロール」->「録音コントロール」が選択できなくなっております。 音量レベルの調整は、以下の手順で操作を行ってください。

- コントロールパネル(クラシック表示)の
 サウンドをダブルクリックしてください。
- • 🚱 🔵 🗢 📓 🕨 コントロール パネル 🕨 ▼ 49 検索 Q 名前 カテゴリ ファイル オンライン... トローラ の簡単操作... ヤンター クラシック表示 0 V **1**01 1 システム スキャナとカ セキュリティ タスクバー デバイスマ サウンド オーディオ デバイスを構成するか、コンピュータのサウンド設定を変更し ます。 3 A ネットワーク ハードウェア バックアップ パフォーマン フォルダオ フォント と共有セン... の追加 と復元セン... スの情報と... プション 52 I. 63 5 プリンタ プログラムと ペンと入力デ マウス ユーザーア 音声合成

🗐 サウンド

②「サウンド」ウィンドウが開きますので〔録音〕タブに移動して 【マイク USB PnP Audio Device】を選択して〔プロパティ〕 ボタンをクリックしてください。

再生 録音 サウンド
次のオーディオ録音デバイスがインストールされています:
デジタル入力デバイス (SPDIF) High Definition Audio デバイス 動作中
マイク USB PnP Audio Device 動作中
OK キャンセル 通用(A)
₹1⊅ 3 (ŋ)

③「マイクのプロパティ」ウィンドウが表示されますので[レベル]タブ に移動してスライダーで録音レベルを変更してください。

録音レベルは最大レベルの 10-25%程度にすることをお勧めします。 録音した音が小さい場合は、再生する機器の音量を大きくして録音 した後に「ノーマライズ」を行ってください。 マイクの録音レベルが高すぎる場合、再生機器が停止している状態(音声入力の無い状態)でも基板のノイズを音として拾ってしまいます。。

このような状態で録音してしまうと、無音区間が無くなってしまう為[サウンド分割]の[無音部分で分割]で 分割ができなくなります。

以下の手順で録音レベルを調整してください。

①再生機器を停止または一時停止している状態にしてから PCA-ACUP に接続してください。 ②DigiOn Sound5 L.E.の[ミキサーコントロール]の【モニター】にチェックを入れてください。 ③[ミキサーコントロール]の緑色音量のバーが目立たない程度まで録音レベルを下げてください。



録音に適したマイクレベルの例

	📢 サウンド	ั้น マイクのプロパティ
	再生錄音(全般レベル詳細
	次のオーディオ: デー い 動	
	× 7	
	US	
 ✓ ステレオ ✓ ブルーブ切り替え ✓ ブルーブ 		
MSR MSR		
÷		
	構成(C)	
-14.8 -inf. 0.0 0.0	L	
✓ ====		

Ⅳ. 録音を行う

①[ファイル]->[新規作成]を選択してください。

	DigiOnSound5 L.E.	
ファ	イル(F) 表示(V) コントロール(C)	へノレプ(H)
\square	新規作成(N)	Ctrl+N
	開<(0)	Ctrl+0
	閉じる(C)	Ctrl+W
	音楽CDからのデータ抽出(M)	
	環境設定(T) サウンドデバイスの設定(U)	
	最近使ったファイル	
_	終了(X)	Alt+F4,Ctrl+Q

②次に、『コントローラ』ウィンドウの録音ボタンを押して録音準備状態にします。
 *『コントローラ』ウィンドウを閉じている場合は、ツールバーの
 〔表示〕->〔コントローラ〕を選択することでコントローラウィンドウを再度表示できます。

③再生ボタンを押すと録音が開始されます。

④翊日を於」りつ时は「テエハダノを押しし、につい

コントローラー	$=$ \times
00:00:00.00	W.Auto R.Auto
	• • • • •
□ 再生しながら録音	録音可能時間 68:16:30

コントローラー	$= - \times$
00:00:00.00	W.Auto R.Auto
□ 再生しながら録音	録音可能時間 68:16:31

コントローラー	$=$ $ \times$
00:00:10.50	W.Auto R.Auto
再生しながら録音	録音可能時間 68:05:43

録音が終わったら編集を行う前に保存することをお勧めします。 保存の手順は、〔ファイル〕->〔名前をつけて保存〕を選択してください。 保存する場所とファイル名を設定して〔保存〕ボタンを押してください。

.	DigiOnSound5 L.E.		
77	イル(F) 編集(E) 表示	(V) エフェクト(T) スペシャル
	新規作成(N)		Ctrl+N
	開<(O)		Ctrl+0
	閉じる(C)		Ctrl+W
	上書き保存(S)		Ctrl+S
\Box	名前を付けて保存(A)	Ctrl-	+Shift+S
	読み込み(I)		Ctrl+R
	書き出し(E)		Ctrl+E
	音楽CDからのデータ抽	出(M)	
	環境設定(T)		F
	サウンドデバイスの設定	<u>=(</u> U)	F
	メールで送信(D)		
	最近使ったファイル		
	終了(X)	Alt+F	4,Ctrl+Q

🧱 名前を付けて係	存				— ×
保存する場所(1):	ועאבאיז 🗻	`	- +	🗈 💣	
名前	更新日時	種類	サイズ	タグ	
	ā	このフォルダは空	です。		
ファイル名(<u>N</u>):	(<u>サウンド1)</u>			— C	保存(<u>S</u>)
ファイルの種類(工):	DigiOnSound	Format (*.dgs)		•	キャンセル
				*	羊細情報(<u>D</u>)…
					ヘルプ(円)
				~	
					///

Ⅴ. サウンド分割でキューポイントを設定する

複数の音楽を連続で録音した場合などに使用する機能です。

ここでは、実際のファイル分割ではなく分割する箇所にキューを挿入します。

①[ツール]->[サウンド分割]を選択してください。



②「サウンド分割」ウィンドウが表示されます。 【無音部分で分類】にチェックを入れ〔次へ〕ボタン をクリックしてください。

サウンド分割	X
─────────────────────────────────────	次へ
○ 特定の間隔で分割(<u>D</u>)	
● 無音部分で分割①	+7/2//
○ キューボイントに従って分割(⊻)	ヘルプ(円)

③「無音検出の設定」ウィンドウが表示されます。 ここで処理方法を【キューポイントの設定のみ行う】 にチェックを入れて〔実行〕ボタンをクリックしてください。

無音検出の設定	X
無音の維続時間(<u>R</u>):	実行
200 🕂 秒 💌	戻る(<u>B</u>)
 音源の種類 ● アナログ1(ノイズ大) 	キャンセル
 アナログ2(ノイズ中) 	ヘルプ(円)
 C アナログ<u>3</u> (ノイズ小) C <u>C</u>D/MD 	
処理方法	
○ ファイルの分割を行なう(<u>D</u>)	
(・ キューポイントの設定のみ)	73(P)
□ 既存のキューを削除する	5(<u>U)</u>

④処理が完了しますと、検出した箇所にCUE-000xとキューポイントが挿入されます。

✓ グループ切り替え		00:03:00.00	CUE-0001	00:0 <mark>0:00.00</mark> CUE-0002
Track1	18 -			
100		·····		
			and the second se	
B 0				

曲と曲の間にうまくキューポイントが挿入されない場合

・録音レベルを下げてみる

・手動でキューポイントを設定する

・無音の継続時間を2.00秒から少し短めに設定してみる

->録音レベルの調整のページを参照のこと

->手動でキューポイントを設定するのページを参照のこと ->本ページの手順③の画面にある無音継続時間を変更してください ここでは、波形を確認して手動でキューを挿入する手順を紹介しています。 サウンド分割のキューポイント挿入がうまく行かなかった箇所に設定してください。

①キューポイントに設定したい箇所のタイムバー 付近クリックします。 ズームボタンを何度か押してクリックした付近を 拡大します。 🧱 DigiOnSound5 L.E. 🗋 📁 🗄 🦉 🔥 🖍 🕒 🖺 뉴 🖽 🕶 🖬 🕲 🙋 🍬 🏷 🏎 🐨 😓 📼 🔜 📼 💼 サウンド1 * 00:06:00.00 CUE-0001 00100:00.00 00:03:00.00 00:09:00.00 🚺 グループ切り替え MSR erden^{en} hat den h 1 ≍ 4≣ 5% 1003 3%

②拡大した後、キューポイントに設定したい箇所 のタイムバー付近をクリックしてください。



③[編集]->[キューポイントの挿入]を選択してください。 上記でクリックした箇所が新しいキューポイントになります。 (キューポイントはドラッグすることで左右に移動できます。)



Ⅶ. ノーマライズ(音量調整)を行う

録音した音楽の音量の調整を行います。

サウンド分割を利用する場合は、先にサウンド分割でキューポイントの設定を行った後にノーマライズを行って下さい。

①[エフェクトランチャー]の【ノーマライズ】をクリックしてください。



②「ノーマライズ」ウィンドウが表示されますのでそのまま 〔OK〕ボタンをクリックしてください。



③処理が完了しますと、下図のように音量の調整が行われます。



1. サウンドを MP3 形式で分割保存する キューポイントに従ってサウンドを MP3 ファイル形式で分割保存します

①〔ツール〕->〔サウンド分割〕を選択すると 「サウンド分割」ウィンドウが開きます。 【キューポイントに従って分割】を選択して 〔次へ〕ボタンをクリックしてください。

0

୬-	·ル(0) コントロール(C) ウィンドウ(W)
\square	サウンド分割(E)
_	トラックデータのミキシング(M)
	フェードイン・アウト(F)
	クロスフェード(C)
	波形データの更新(R)
	DigiOn PodCreatorの起動(P)

サウンド分割	×
- 分割基準	次へ
○ 特定の間隔で分割(D)	+ 12 14211
○ 無音部分で分割(1)	+7/0//
● キューボイントに従って分割(♡)	へルプ(<u>H</u>)

②ファイル形式を【MPEG Audio Layer-3/mp3PRO (*.mp3)】に変更します。 フォーマット/エンコード速度を変更する場合は〔詳細〕ボタンをクリック し「保存オプション」ウィンドウを表示させてください。

×
<u> </u>
サウンド
ヘルプ(出)

③「保存オプション」ウィンドウにてフォーマット/エンコード 速度を変更できます。 設定が完了したら[OK]ボタンをクリックして「サウンド分割」 ウィンドウに戻ってください。

保存オプション	×
フォーマット ☑ mp3PROを有効にする(M)	
○ 固定ビットレート(CBR)(B)	
128kbps 44100Hz ステレオ	
〇 可変ビットレート(VBR) (<u>R</u>)	
Moderate Compression	
- エンコード速度	
⑦ 高速(H) ○ 標準(S) ○ 高品質(Q)	
「著作権フラグ(C) 「オリジナルフラグ(Q)	
OK キャンセル ヘルブ(出)	

④[OK]ボタンをクリックすると分割が開始されます。

⑤処理が完了しましたら、保存先のフォルダを確認してください。 分割されたファイルは右の図のようにプレフィックス名のあとに

4桁の数字のファイルで順番に作成されます。



Goo ♥ ■ « TES	T ▶ ドキュメント	 ★ ★
🎍 整理 👻 🏢 表示	👻 🖸 再生 👻 💽 すべて再	再生する 💀 共有 🔞 書き
お気に入りリンク	名前	アーティスト
In the second	📕 サウンド1	
10×1×2×2	● サウンド_0001	
2 ピクチャ	サウンド_0002	
1 ミュージック		